

# 更生管用メカロック支管〈施工手順〉

## 必要工具の点検

製品取付用 ●ホールソー ●ボックスドライバー ●ウエス ●ヤスリ  
 既設管切断用（参考） ●ディスクグラインダー ●ボール ●ハンマー等

### 施工上の注意

1. ハンドルは本管取付時まで回さないで下さい。
2. ステンレスバンドを締める時はボックスドライバーなどを使用してください。締付トルクは5~7N・m（約50~70kgf/cm）
3. 取付終了後、メカロック支管・取付管の周囲は充分締め固めてください。
4. 既設管切断時に更生管まで切断しないでください。
5. 更生管は自立管のみ対応です。複合管、二層構造管には対応していません。管厚を確認の上、適切な製品を取り付けください。

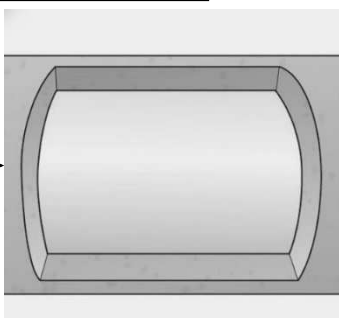
〈既設管切断幅、深さ〉  
 幅・・・270×370mm程度  
 深さ・・・既設管厚以内

〈適応せん孔径〉  
 φ100...118~122mm  
 φ150...168~172mm

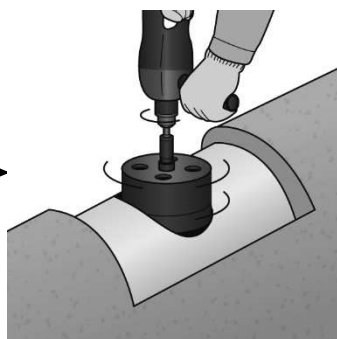
## 1. 既設管の切断・せん孔・清掃



製品取付部分をディスクグラインダー等で切断し既設管を取り除きます。切断深さは管厚の70%以上です。

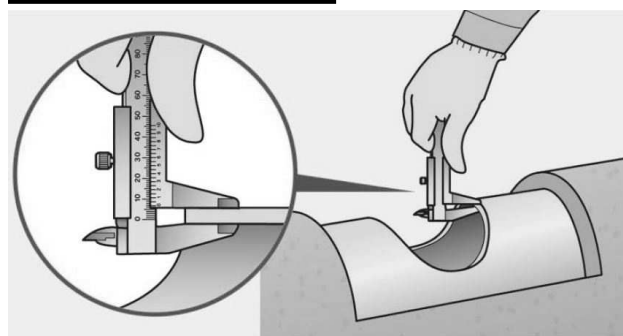


切断した既設管をボール等を持ち取り除きます。更生管外面に保護シート等が付いている場合は撤去し、更生管を露出させます。



ホールソーでせん孔し、ヤスリ等でせん孔屑をきれいに取り除き、本管表面をウエス等できれいにします。

## 2. 支管設置前確認



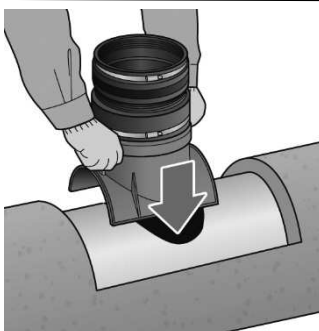
更生管用のメカロック支管は管厚によって製品が異なります。製品の取り付け前に更生管の種類・厚さを確認してください。更生管によっては、同じ管でも管厚が異なる場合があります。支管設置位置ごとに管厚を測定してください。

※ツメがかかる管頂部の厚さを測定してください。

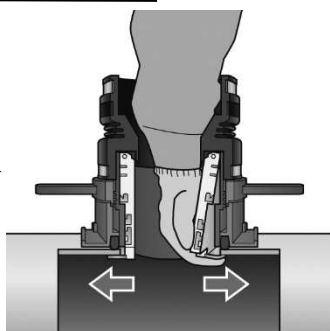
### ステンレスツメ対応寸法

ツメ種類	適応管厚(mm)
A	6~9
B	9~12
C	12~15

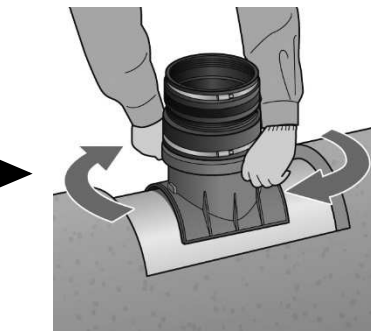
## 3. 支管の取付・取付管の接続



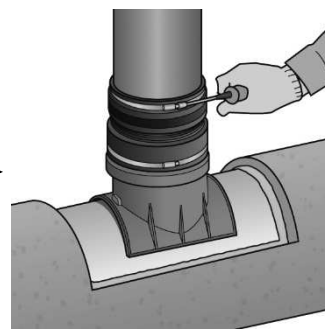
せん孔位置に合わせてメカロック支管をセットします。  
 ※接着剤などは使用しないでください。



ツメをやや引き上げながら両側へ広げて、確実にセットします。  
 ※ツメが確実に収まったか、確認してください。

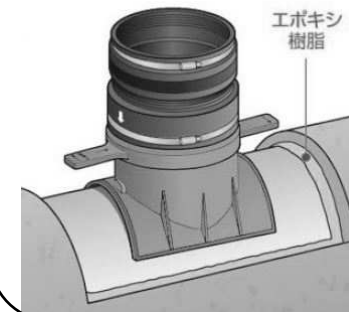


封印シールをはがして、ハンドルを一回転半（時計回り）させ、ストッパー位置まで締め込みます。  
 ※ストッパー位置ではハンドルの矢印と受口ゴムの矢印が合います。



取付管を受口ゴムに差し込み、ステンレスバンドを十分に締め付けて施工完了です。

### 既設管と更生管の隙間処理



既設管と更生管の間の止水処理が必要な場合はエポキシ樹脂等を持ちて止水処理を行ってください。  
 ※製品にエポキシ樹脂は付属されていません。

★取付完了後に万一取り外される場合は、当社または取扱店にご連絡下さい。

株式会社 **サンリツ**

〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中 143  
 Tel. (076)462-9325 Fax. (076)462-9334